

【テーマ】
1-人材育成、確保のための取組
(3) 担い手育成

【採択年度】
R2・R3・R4 年度

南小国町 クラフトワーク南小国

中学生が地域のためにもものづくりを行うことで、山や木材への意識向上を図り、地域の人たちにも小国杉に触れてもらう機会を増やしていきます。また、木育を活用した観光コンテンツの開発も行います。

地域の課題と活動をはじめた動機

南小国町は林業が盛んですが、林業従事者の減少や高齢化による後継者不足が課題です。

そこで、後継者育成のきっかけとするため、若者たちが木と触れ合う機会を作り、ブランド杉としての小国杉を広め、地元の素材を活かしたデザイン検討などの活動を始めました。

活動（事業）内容

- 中学生がファブクラブを作り、ファブラボを活用してツールなどを作成しました。
- 小学生・保護者・大学生らを対象に木育のワークショップを開催し、平均台を作りました。
- ファブラボにある機械を活用した木材加工技法の習得や温泉施設宿泊者向けの体験プログラムを実施しました。

成果

- 3D プリンターやレーザーカッターなどのデジタル機器を活用して制作することで、アナログとデジタルのハイブリッドな木材加工技法を確立し、3人がその技法を習得しました。
- 温泉施設と連携した地域滞在者向けの新たな体験プログラムを確立できました。今後は、継続販売に向けてさらなる効率化を進め、集客手法を検討していきます。

現在の活動と今後の展望

- 地元の学校から木育体験の依頼が来るようになったので、木育（木づかい運動）を今後も継続していきます。
- 地元旅館と連携した木育ワークショップと宿泊がセットになった観光コンテンツを売り出したいと考えています。

連携団体

- 学校や教育委員会
- ファブラボを利活用するクリエイターの方々

情報発信媒体

<https://ja-jp.facebook.com/FablabAsoMinamioguni/>
https://www.instagram.com/fablab_minamioguni/



小国杉の森



小国杉のクラフト作品



中学生のツールワークショップ



小学生の平均台ワークショップ

【地域の概要】南小国町（人口）3,874人（世帯数）1,866世帯 [住民基本台帳 2023.12 現在]
【組織の概要】クラフトワーク南小国 代表：竹下 由記 会員数：5名 活動拠点：ファブラボ

事業企画・展開のポイント

ターゲットのリーサーチと地域の環境を活かす

イベント参加者が「今、何に興味や関心を持っているか」ということを常日頃からリーサーチ・分析して形にすることと地域の環境を活かすということを大切にしています。



シェーカーボックスワークショップの様子



平均台ワークショップの様子

組織運営のポイント

クリエイターの方々と一緒にイベントを行う

クリエイターとして地元で活躍されている方々は、デザイン業界の最前線で活躍されている方が多いので、イベントの成果が最大限になるよう、運営スタッフとして誰と連携するかを考えています。



小国産ヒノキの平均台



小国杉シェーカーボックス

他の団体と連携ポイント

学校や教育委員会との連携

子どもたちを対象にしたワークショップを行うときに、学校や教育委員会、行政との連携も必要になります。地域の自治会長への挨拶やイベントの趣旨を丁寧に説明することを心がけています。



温泉施設宿泊者向けのワークショップ



ファブラボ外観